

平成25年7月6日に岐阜県高山市で発生した突風について  
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

7月6日17時10分頃に岐阜県高山市山口町(やまぐちまち)から滝町(たきまち)にかけて突風が発生し、ビニールハウスの一部損壊などの被害が発生しました。

岐阜地方気象台は、7月7日及び8日の両日、この突風現象の調査のため職員を気象庁機動調査班(JMA-MOT)として派遣し、現地調査を実施しました。調査結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻の可能性のあるものの特定に至らなかった。

(竜巻の根拠)

- ・被害の発生時刻に被害地付近を活発な積乱雲が通過中であった。
- ・被害は、断続的ではあるが帯状に分布していた。
- ・被害や痕跡から推定した風向に収束性を示す部分があった。

(特定に至らなかった理由)

- ・現象の特定に結びつく目撃情報や証言を複数得られなかった。

(2) 強さ(藤田スケール)

この突風の強さは藤田スケールでF0と推定した。

(根拠)

- ・ビニールハウスの一部損壊が多数あった。

\* この資料は、速報として取り急ぎまとめたもので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。